

2022年度事業計画

2022年4月1日～2023年3月31日

特定非営利活動法人 こども∞感ばにー

ビジョン：子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに

ミッション：どんなときも子どもの可能性を信じる大人であり続けます

子ども心と勇気を持って、子どもが安心して過ごせる環境を地域とともに創造し続けます

1 事業実施の方針

昨年より、“プレーパーク” “フリースクール”の2つの事業に軸足を置き体制を整えた一年でした。今年度も各事業担当スタッフが中心となり体制を整え、ビジョン・ミッションに沿った活動をつくりだしていきます。また、放課後児童健全育成事業の受託に向けた体制を構築する一年となります。

放課後児童健全育成事業の受託は、小学生の放課後と長期休みを過ごす居場所であることから、本会が受託することで子どもの主体性を尊重し、ミッションに沿った事業展開につながると考えています。

また、不登校児童生徒の受け入れフリースクールに加え、各行政機関と不登校の根底にある課題に視点をおき、制度や施策、官民が一体となって子どもの未来を考える連携体制構築に力を注ぎます。

これらの事業を持続可能なものにするために、組織基盤を常に整え運営費の捻出方法について新たな挑戦をしていきます。

《重点目標》

●地域住民がプレーパークを通じて、「地域の子どもは地域で見守り育てる」を実現する

プレーパークを利用する保護者や渡中学区WWI、黄金浜自治会と共に、渡波中学校区の子どもが地域と繋がるための取り組みをおこなう。そのために夏まつりやプレーパークの「居場所改革」をコーディネートする他、町内会や学校行事に参加し関係づくりをおこないます。

●フリースクールの発信により、行き場を探している不登校親子に情報を届ける

石巻市2020年度の義務教育の不登校数は250名。これは氷山の一角にすぎず実際はこの何倍もいます。不登校親子は教育機関以外の相談窓口を知らぬまま孤立し、悩み続けるケースも少なくありません。

そのため本会の存在を発信し、情報を届けることで選択肢が広がり本会のフリースクールが居場所となる子どもを増やしたいと考えます。

また、地域資源を把握し信頼関係をつくることで、本会から他機関につなぐ機会が生まれるため、関係機関との連携体制を構築します。

●不登校課題を、ネットワークや各種会議を通じて行政と連携した取り組みを行う

市内・県内の各不登校ネットワーク活動と並行して、不登校や生活困窮、虐待事例などの各種委員会や連絡会議に積極的に参加し、「不登校理解」と「今後の取り組みの改正」について行政機関と協働で考えます。

《事業》

①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

◆プレーパーク事業

【目的】子どもが自分の責任で遊べる機会を創出し、子どもの生きる力を育む

●プレーパークわたのは

【目標】

- ・2024年までに渡波中学校区の子どもにとって居場所の一つとして認知されることを目指す
- ・継続的な活動をおこなうために、地域住民や子どもの「当事者意識」を育てていく。そのための根拠となる地域住民の声をまとめ、今後の場づくりを地域住民と一緒に考えていく
- ・開催予定回数 140回
- ・地域住民がプレわたに来所しやすい環境づくりをおこない来所人数の増加
来所人数 子ども延2,980名、大人1,060名
- ・開催外利用人数 子ども延1,625名、大人延625名

【事業内容】

- ・開催日時：金曜日 14:00～17:00
土・日曜日 10:00～16:00
- ・環境整備
ウッドデッキ制作/ウッドデッキ屋根制作/東屋作成/
- ・地域住民との連携
夏祭り（8月）/地域ゴミ拾い（毎月・黄金浜自治会主催）/黄金浜地区側溝掃除（9月）
教育機関と子どもに関する情報交換・共有（各校年3回程度）/地域の声収集(随時)
- ・ボランティア育成
窓口の設置と体制構築

●プレーパークわたのは（平日）

【目標】

昨年度から平日開催を地域住民（主に未就学親子）に引継ぎをおこない、今年度からは平日開催を休止するが、地域住民が円滑に活動を継続できるようフォローや見守りを継続しておこなう

【事業内容】

- ・要望により随時フォローを実施

●鹿妻プレーパーク“ひがこー”

【目標】

- ・有償・無償ボランティアによる開催体制づくり
大学生や地域住民をボランティア育成し、現場の他、FB・ブログ更新や会報誌の執筆、広報など、一人ひとりの強みを生かした体制をつくる
2023年以降はチームが構築され、ボランティア中心でひがこーが開催できることを目指す
ボランティア数：延べ60名

- ・安定した資金調達を行うことによる継続的開催
- ・開催数 50回（うち春季・夏季・冬季各一回 一日遊び開催：10：30～16：00）
- ・来所人数 子ども延1,400名、大人延350名 合計延1,750名

【事業内容】

- ・開催日時：毎週水曜日 15：00～17：00（冬季は16:30迄）
- ・環境整備
倉庫内の整理整頓/プレーパーク告知看板設置（ボランティアと協働）
- ・ボランティア育成
窓口の設置と体制構築
- ・広報
来所する子どもと地域住民に会報誌を配布。
- ・地域連携
鹿妻小学校と子どもに関する情報交換・共有 2回
鹿妻小学校「農村クラブ」サポート 年2回

●プレーパーク・プレイワーク普及事業

【目的】

地域の子どもの孤立をなくし、安心して暮らせる社会になるため、市民にプレーパーク及びプレイワークを普及する

【目標】

プレイワークを理解する大人を増やし、地域住民と協働で子どもを見守る体制づくりと普及活動を行うことで、子どもの自由な遊びの機会を増やす

- ・移動式プレーパーク開催回数：延べ5回、振り返り会5回 計10回

利用者人数 子ども延150名 大人延100名 計250名

【事業内容】

- ・移動式プレーパーク
実施月は奇数月（7.9.11.1.3月） 準備&振り返り会（※）は偶数月（6.8.10.12.2月）
※実施の振り返りと次回の開催に向けた話し合いをおこなう
開催場所：蛇田、門脇、河北、牡鹿地区など

◆フリースクール事業

●フリースクール“ほはっく”

【目的】

安心して過ごせる居場所や、「やってみたい」を実現できる環境をつくり、学校に行けない子どもが、社会の中で自立するためのサポートをおこなう

【目標】

不登校で悩む親子に、フリースクールや相談窓口の情報を届けるための情報発信方法を確立し、それによって登録者・相談者の増加を図る

- ・開催日数 140回
- ・登録者数 30名(+新規6名) 常時利用者数：10名
- ・利用人数 平均8名 延1,120名
- ・本人の意思による高校進学や復学 社会への自立 5名
- ・不登校相談受け入れ 新規：12件
- ・出席扱い学校数 在籍児童生徒が通う学校すべて（2021年度は8校）

【事業内容】

- ・石巻市の学校、SSW や虐待防止センター、保護課などの教育機関・行政機関と連携体制の構築
- ・地域資源のリストアップ
- ・不登校で悩む親子への情報発信
- ・子どもの意思による高校進学や復学サポート
- ・被虐待児童生徒への心のサポート（カウンセリング）
- ・保護者への心のサポート 面談/相談 月1回～2ヶ月に1回

◆放課後児童クラブ事業（準備期間）

【目的】

放課後児童クラブに通う子どもにとって、児童クラブが楽しく、安心して過ごせる環境となることで、子どもの心身ともに健全な育成を図る

【目標】

2023年度から渡波小学校放課後児童クラブの民間委託受託開始にむけて、円滑な業務引継ぎの準備と新規事業の体制づくりの完成を目指す

【事業内容】

- ・公募にむけた準備
コンセプト・イメージづくり/申請書作成/プレゼン資料作成
- ・事業開始にむけた準備
先進事例の視察研修/保護者説明会(2回)/各種運営マニュアル作成/研修プログラム作成・実施(ブレイワーク)/HP制作 他

◆地域・民間団体との連携事業

●石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会

【目的】

石巻全域の子どもが、自らの足で出向ける場所にプレーパーク（居場所）があり、地域で子どもを見守る体制を構築することで、子どもの孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域づくり

【目標】

7年後までに、石巻市内13か所の子どもの居場所（児童館、プレーパーク）設置を目指し、構成団体や地域住民と連携して、子どもの居場所を増やす。そのために、子どもや保護者の声を行政に届ける

【事業内容】

- ・役員会議 月1回程度（組織体制づくり/事業計画）
- ・蛇田地区の移動児童館運営サポート
- ・総会開催

●渡中学区WW I (わっしょい渡波委員会)

【目的】

渡波中学校区の子どもが地域で見守られ、安心して暮らせる地域をつくる

【目標】

渡波中学校区(小学校2校、中学校1校)のPTAや民生委員、社会福祉協議会などと「地域の子どもは地域で見守り育てる」を合言葉に渡波地区の任意団体として活動し、地域での認知度を高める

- ・地域住民メンバー25名 (+6名)

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度
- ・イベント
 - スプラトゥーン大会（8月）/肝試し大会（未定）
- ・講座
 - 子どもとのコミュニケーション力（嶋村仁/TOKYOPLAY）
- ・地域活動への協力
 - 渡波中学校区 地区防災新体制づくりとサポート（8月～11月）
 - 渡波中学校生徒企画 廃品回収事業へのサポート（6月・10月）
 - プレわた夏祭りサポート など

●多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

【目的】

教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる

【目標】

不登校支援団体や議員を含む市民が連携し、行政と協働を図るための体制づくりをおこなう
これにより宮城県の不登校への教育システムや官民が連携した子どもの見守り体制が誕生する

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度（総会、事業計画、資金調達）
- ・研修会(教育機会確保法、先進事例検討会、不登校理解を深める講座実施など)
- ・調査活動(当事者の意識アンケート/昨年からの継続)
- ・交流イベント（県内フリースクールや居場所に在籍する子ども同士の交流）
- ・情報の共有と発信（居場所マップ配布、フェイスブック等）
- ・意見交換会（対象：行政、県議会議員）

●まずは石巻から不登校という言葉をなくすネットワーク

【目的】

子ども一人ひとりが自分に合った学びの場に出会い、安心して暮らせる社会をつくる

【目標】

- ・不登校の居場所や相談に関する情報を必要とする親子に、石巻市内の情報を届ける仕組みづくり
- ・「不登校は問題行動ではない」「居場所の必要性」について発信し不登校理解者を増やす
- ・賛同者：15名
- ・当事者の声を行政に届ける

【事業内容】

- ・定例会議（事業計画立案）と情報交換会（月1回程度）
- ・親の会「おでんの会」6回（偶数月） 場所：住吉会館
- ・不登校シンポジウム 来所数：100名

②子育てサポート事業

【目的】

気軽に子育て相談ができる環境と、市内に少ない不登校相談窓口を設置することで、孤立した保護者のサポートをおこなう

【目標】

相談件数：延べ120件

【事業内容】

- ・面談式相談（事前予約）：平日10：00～18：00 ※オンラインや電話での相談も可
- ・ながら相談：プレーパーク開催時随時受け入れ

③自然体験プログラム事業

活動予定なし

④社会体験プログラムに関する事業

活動予定なし

⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

●啓発事業（講座/研修）

講師派遣：外遊びの大切さ講座/愛着形成がもたらす親子関係/プレーパークのつくり方
/不登校を理解するための講座

認定NPO取得感謝祭（6月/石巻）

10周年活動報告会（2023年1月/石巻）など

●情報発信事業

HPリニューアル/会報誌「だん子むし」600部発行/こどばにー映像「みんな～おいで～(地域向け)」「こどもみらいず(行政・寄付者向け)」拡散/プレーパークわたのはパンフレット配布
/SNS配信 (Facebook、Instagram、ツイッター、ブログ1回/週)

●人材育成事業

- ・事業スキル向上のためのスタッフ研修
 カウンセリング (年4回1名)
 居場所研修：東北圏内のプレーパーク
- ・組織運営のためのスタッフ研修
 資金調達 (寄付・会員拡大他)
- ・外部人材育成
 ボランティア (市内高校生、市内在住の大学生、県外) /インターン受け入れ
 視察受け入れ など

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業

●主たる活動地域内

渡波小学校評議委員会 3回 /渡波中学校区協働教育協議委員会 3回
/石巻市社会福祉推進委員会 3回 /子ども・若者支援地域協議会 /SSW連絡会議 /宮城県不登校連絡協議会 (仮称)

●石巻市内

都市計画審議委員会 3回 /NPO法人こどもにやさしいまちづくり理事 3回程度
/らいつコンソーシアム協議委員 3回 /NPO法人にじいろクレヨン理事 年4回
/市民公益活動いしのまき連絡会議理事会 10回程度

●組織基盤強化

資金調達プロジェクト

2024年の助成金終了に向けて中期計画を立案。寄付、賛助会員その他の資金調達方法を導入する
：コーディネーター (日本 NPO センター田尻氏)

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者名	受益者	事業費(円)
① すべての子どものための居場所(あそび場)に関する事業	プレーパーク事業 ・プレーパークわたのは ・鹿妻プレーパークひがこー ・プレーパーク・プレイワーク普及	金・土・日 水 随時	渡波 鹿妻 市内	4名 1名 2名	幼児 ～高校生 延7,275人 地域住民 延2,255人 (335回)	13,464,000
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく ・面談/相談	火・木・金曜 随時	鹿妻 鹿妻・渡波	3名 1名		
	放課後児童健全育成事業	随時	鹿妻	2名	-	2,480,000
	地域連携・ネットワーク事業 ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会 ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク ・渡中学区WWI ・黄金浜自治体連携 ・まずは石巻から不登校という言葉をなくすネットワーク	15回/年 15回/年 15回/年 15回/年 10回/年	宮城県内	2名 1名 2名 1名 1名		1,001,000
② 子育てサポート事業	・地域住民のプレーパーク開催サポート ・子育て/不登校相談	火 随時	渡波	2名	-	-
③ 自然体験プログラム事業	※活動予定なし	-	-	-	-	-
④ 社会体験プログラム事業	※活動予定なし	-	-	-	-	-
⑤ 前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・講師派遣 ・活動報告会		石巻市内 石巻市内	2名 全スタッフ	-	1,001,000
	情報発信事業 ・HP改訂と拡散 ・会報誌「だんごむし」 ・こどばにー映像2本拡散 ・ブログ ・Facebook / Instagram ・ツイッター ・各事業パンフレット配布	7月～12月 年4回 随時 月4本 随時 随時 年1回	-	全スタッフ	-	
	人材育成事業 ・居場所研修 ・カウンセリング ・資金調達研修	未定 年4回 通年	東北圏内 オンライン 石巻市内	2名 1名 全スタッフ	-	

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内での委員	随時	石巻市内	1名	-	326,000
	・石巻市内における委員や役員	随時	石巻市内	1名		

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

理事会の開催（年3回他必要に応じて開催）

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り

代表：田中雅子

常勤スタッフ：4名

非常勤スタッフ：3名

(3) 会員

【目標】

・正会員 20名(+8名)

・賛助会 120名(+44名)

(4) ボランティア（県内の高校生・大学生を中心に受け入れ/短期含む）：20名

(5) 地域社会や他団体との連携について

宮城県教育委員会、宮城県共同参画推進課、宮城県東部児童相談所、宮城県東部教育事務所、石巻市教育委員会、石巻市福祉部子育て支援課・保育課、石巻市都市計画課、石巻市虐待防止センター、石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、他小中学校多数、公益社団法人 3.11 みらいサポート、NPO 法人ベビースマイル石巻、NPO 法人 TEDIC、NPO 法人にじいろクレヨン、NPO 法人こどもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレーワーカーズ 多様な学びを共につくる・みやぎネットワークなど連携団体は多数

以上